

(参考)

## 平成19年3月期 第3四半期決算概要

## 連 結

平成19年2月7日  
三井化学株式会社

## 1. 連結の範囲

(単位：社)

	平成18年 12月末	平成18年 3月末	増 減	平成19年 3月期予想	平成18年 3月期実績	増 減
連結子会社数	72	68	4	70	68	2
持分法適用会社数	56	63	7	52	63	11
合 計	128	131	3	122	131	9

## 2. 損益状況

(単位：億円)

	平成19年3月期 第3四半期	平成18年3月期 第3四半期	増 減	平成19年 3月期予想	平成18年 3月期実績	増 減
売上高	12,554	10,727	1,827	17,000	14,724	2,276
営業利益	676	402	274	850	587	263
経常利益	732	436	296	900	620	280
四半期(当期)純利益	456	284	172	520	441	79

## ・主要指標

為替レート 円/US\$	116	112	4	117	113	4
国産ナフサ価格 円/KL	50,333	41,100	9,233	50,250	42,350	7,900

## ・特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成19年3月期 第3四半期	平成18年3月期 第3四半期	増 減	平成19年 3月期予想	平成18年 3月期実績	増 減
資産売却益等	8	18	10	15	26	11
持分変動利益	31	91	60	30	94	64
退職給付信託設定益	-	-	-	-	103	103
固定資産整理売却損	27	44	17	70	79	9
関連事業損失等	34	3	31	40	15	25
その他	22	10	12	35	20	15
合 計	44	52	96	100	109	209

## 3. セグメント別 売上高・営業利益(増減内訳は4.を参照)

(単位：億円)

	平成19年3月期 第3四半期	平成18年3月期 第3四半期	増 減	平成19年 3月期予想	平成18年 3月期実績	増 減	
機能化学品	売上高	1,573	1,408	165	2,200	1,927	273
	営業利益	91	70	21	120	108	12
機能樹脂	売上高	2,352	2,060	292	3,200	2,817	383
	営業利益	151	54	97	240	101	139
基礎化学品	売上高	4,092	3,482	610	5,500	4,743	757
	営業利益	96	175	79	80	218	138
石油化学	売上高	4,216	3,502	714	5,700	4,870	830
	営業利益	341	107	234	410	159	251
その他	売上高	321	275	46	400	367	33
	営業利益	13	3	16	-	6	6
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-
	営業利益	16	1	15	-	5	5
合 計	売上高	12,554	10,727	1,827	17,000	14,724	2,276
	営業利益	676	402	274	850	587	263

## 4.セグメント別増減内訳(対前年同四半期)

## ・売上高

(単位:億円)

	平成19年3月期 第3四半期	平成18年3月期 第3四半期	計	増 減	
				数量差	価格差
機能化学品	1,573	1,408	165	187	22
機能樹脂	2,352	2,060	292	138	154
基礎化学品	4,092	3,482	610	240	370
石油化学	4,216	3,502	714	150	564
その他	321	275	46	44	2
消去・全社	-	-	-	-	-
合計	12,554	10,727	1,827	759	1,068

## ・営業利益

(単位:億円)

	平成19年3月期 第3四半期	平成18年3月期 第3四半期	計	増 減			
				数量差	価格差	比例費差	固定費差等
機能化学品	91	70	21	49	22	3	3
機能樹脂	151	54	97	6	154	68	5
基礎化学品	96	175	79	44	370	515	22
石油化学	341	107	234	62	564	394	2
その他	13	3	16	7	2	2	5
消去・全社	16	1	15	-	-	-	15
合計	676	402	274	168	1,068	978	16

## 5.貸借対照表

(単位:億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H18/12末	H18/3末	増 減		H18/12末	H18/3末	増 減
流動資産	6,943	6,090	853	有利子負債	4,927	4,239	688
有形固定資産	5,337	5,323	14	その他負債	3,976	3,659	317
無形固定資産	296	233	63	自己資本	4,917	4,640	277
投資等	1,903	1,643	260	少数株主持分	659	751	92
資産計	14,479	13,289	1,190	負債純資産計	14,479	13,289	1,190
				(D/Eレシオ)	(1.00)	(0.91)	(0.09)

## 6.キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	平成19年3月期 第3四半期	平成18年3月期 第3四半期	増 減
営業キャッシュ・フロー	609	285	324
投資キャッシュ・フロー	898	468	430
(フリーキャッシュ・フロー)	(289)	(183)	(106)
財務キャッシュ・フロー	377	269	108
その他	8	9	1
現預金等増減	96	95	1



平成19年 3月期 第3 四半期財務・業績の概況（連結） 平成19年 2月 7日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183

本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.mitsui-chem.co.jp)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 藤吉建二

問合せ先責任者 役職名 財務部部長補佐 氏名 萩原一志 TEL (03) 6253 - 2185

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 国内連結子会社の一部で、建物を除く有形固定資産の減価償却の方法を、当連結会計年度より定額法から定率法によることに変更いたしました。また、国内連結子会社の一部で、当連結会計年度より修繕引当金を設定いたしました。
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結（新規）8社、（除外）4社  
持分法（新規）3社、（除外）10社

2. 平成19年 3月期第3 四半期財務・業績の概況（平成18年 4月 1日 ~ 平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 百万円未満の端数は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第3 四半期	1,255,432	17.0	67,618	68.3	73,194	67.7	45,637	60.5
18年 3月期第3 四半期	1,072,742	18.8	40,179	20.4	43,635	11.0	28,434	417.5
(参考) 18年 3月期	1,472,435		58,705		61,989		44,125	

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年 3月期第3 四半期	57.88	-
18年 3月期第3 四半期	36.30	-
(参考) 18年 3月期	56.20	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期第3 四半期	1,447,853	557,547	34.0	636.82
18年 3月期第3 四半期	1,354,426	442,284	32.7	564.94
(参考) 18年 3月期	1,328,890	464,021	34.9	592.42

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 3月期第3 四半期	60,895	89,794	37,723	40,838
18年 3月期第3 四半期	28,521	46,783	26,907	37,532
(参考) 18年 3月期	79,709	58,247	19,590	31,221

3. 平成19年 3月期の連結業績予想（平成18年 4月 1日 ~ 平成19年 3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	1,700,000	85,000	90,000	52,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 67円 35銭

上記の連結業績予想は、最近の業績の動向を踏まえ、平成18年11月10日に公表した予想数値を上方修正しております。当該内容につきましては、単独業績予想の修正内容とともに本日付で「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」により公表しております。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、5ページの「(4)連結業績の見通し」をご参照下さい。

#### 4. 経営成績（連結）の進捗状況、及び財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報など

##### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

###### (全般的状況)

化学工業界におきましては、高値圏にある原燃料価格がさらに高騰したことにより、事業環境は大変厳しい状況が続きました。

このような情勢のもとで、当社グループは、営業活動に全力を傾注するとともに、徹底したコストダウンに努めるなど、グループを挙げて収益改善に取り組んでまいりました。

その結果、当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期期	12,554	676	732	456
前年同四半期	10,727	402	436	284
増減額	1,827	274	296	172
増減率	17.0%	68.3%	67.7%	60.5%

売上高は、前年同四半期に比べ 1,827 億円増（17.0%増）の 12,554 億円となりました。これは、ナフサなどの原燃料価格高騰のもと、製品価格の是正に努めたことなどによる価格アップ 1,068 億円、販売数量増加による数量効果 759 億円を要因とするものです。

営業利益は、ナフサなどの原燃料価格高騰などにより売上原価が大きく増加しましたが、製品価格の値上げに注力したこと及び販売数量増加による効果などにより、前年同四半期に比べ 274 億円増（68.3%増）の 676 億円となりました。

経常利益は、営業外損益が前年同四半期に比べ 22 億円改善した結果、前年同四半期に比べ 296 億円増（67.7%増）の 732 億円となりました。これは、為替差益が増加したことなどにより営業外収益が前年同四半期に比べ 26 億円増加した一方、支払利息の増加などにより営業外費用が前年同四半期に比べ 4 億円増加したことによるものです。

これらの結果、売上高経常利益率（ROS）は 5.8%となりました。

特別利益は、MTアクアポリマー設立等に伴う持分変動利益 31 億円などにより 39 億円となりました。一方、特別損失は、固定資産整理損・売却損 27 億円、肥料事業などに係る関連事業損失・投資有価証券売却損 34 億円などにより 83 億円となりました。この結果、特別損益は、前年同四半期に比べ 96 億円減益の 44 億円の損失となりました。

以上により、税金等調整前四半期純利益は、前年同四半期に比べ 200 億円増の 688 億円となりました。

四半期純利益は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ 172 億円増（60.5%増）の 456 億円となり、1 株当たり四半期純利益は 57.88 円となりました。

当四半期の主なセグメント別の状況は次のとおりです。

###### (機能化学品)

衛生材料は、不織布の需要が東・東南アジア、特にタイ・中国市場で拡大したことにより、売上高は好調に推移しました。

建設資材は、土木資材を中心とした需要に支えられたものの、防水材事業を譲渡したことにより、売上高は減少しました。

半導体材料は、半導体市場及び液晶市場で価格低下の影響を受けたものの、半導体用ガスの積極的な販売拡大により、売上高は好調に推移しました。

表示材料は、プラズマディスプレイパネル市場が拡大したことにより、売上高は好調に推移しましたが、急激な価格低下による影響を大きく受けました。

眼鏡レンズ用モノマー、医薬中間体などのヘルスケア事業は、販売が順調であったため、売上高は好調に推移しました。

重合抑制剤、タイヤ・木材向け接着剤原料などの化成品事業は、売上高は好調に推移しましたが、コストアップ分の全てをカバーするには至りませんでした。

農業化学品事業は、殺虫剤などの販売が拡大し、売上高は好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 165 億円増の 1,573 億円、売上高全体に占める割合は 12%となりました。また、営業利益は 21 億円増の 91 億円となりました。

### （機能樹脂）

エチレン・プロピレンゴム、 $\alpha$ -オレフィンコポリマーなどのエラストマー事業は、自動車部品を中心とした国内需要の拡大に加え、アジア市場を中心に新規顧客の開拓及び軟質樹脂用途などの市場開発が順調に進み、売上高は好調に推移しました。

特殊ポリオレフィン、光学用途及び電子材料用途を中心に需要が拡大したことにより、売上高は好調に推移しました。

エンジニアリングプラスチックは、電子部品用途を中心に新規銘柄の中国における販売拡大があったものの、全体的に販売数量が伸び悩み、売上高は低調に推移しました。

塗料用原料樹脂は、情報記録紙向け及び携帯電話用途の販売が順調であったため、売上高は好調に推移しました。

ワックス、石油樹脂などの添加材料は、原料価格の高騰を反映した製品価格の値上がりにより、売上高は増加しました。

製紙材料用途のアクリルアミドは、販売数量の増加により、売上高は好調に推移しました。

ウレタン原料は、MDIの市況が海外で低迷したものの、TDIの市況が東・東南アジア、特に中国で改善したこと及びPPGの製品価格の値上がりにより、売上高は好調に推移しました。

ウレタン樹脂は、コーティング材、建材・注型、接着剤ともに、国内外の需要増を背景に、売上高は好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 292 億円増の 2,352 億円、売上高全体に占める割合は 19%となりました。また、営業利益は 97 億円増の 151 億円となりました。

### （基礎化学品）

高純度テレフタル酸は、原料価格の高騰を受けて製品価格の改定を行ったことに加え、タイにおける Siam Mitsui PTA Co., Ltd. の生産能力増強が販売拡大に寄与したことにより、売上高は増加しました。

ペット樹脂（ポリエチレンテレフタレート）は、国内ペットボトル向けの需要の伸び悩み、輸入品の増加などにより、販売数量は低調に推移しましたが、原料価格の高騰を反映した製品価格の値上がりにより、売上高は堅調に推移しました。

フェノールは、原料価格の高騰を反映した製品価格の値上がりやアジア市場の需要が堅調に推移したことにより、売上高は増加しました。

ビスフェノールAは、販売数量は堅調に推移したものの、中国の市況が低迷したことにより、売上高は低調に推移しました。

エチレングリコール、エチレンオキサイド及びその誘導品は、プラントの定期修理を行ったことによる販売数量の減少はあったものの、製品価格の改定により、売上高は堅調に推移しました。

しかしながら、各製品とも原料価格の高騰によるコストアップ分の全てをカバーするには至りませんでした。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 610 億円増の 4,092 億円、売上高全体に占める割合は 33%となりました。また、営業利益は 79 億円減の 96 億円となりました。

### (石油化学)

エチレン及びプロピレンは、国内外ともに需要が伸長したことに加え、定期修理を行ったプラントが前年同四半期に比べ少なかったため、生産量は増加しました。

ポリエチレン及びポリプロピレンは、原料価格の高騰を受けて製品価格の改定を行ったことにより、売上高は増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 714 億円増の 4,216 億円、売上高全体に占める割合は 34%となりました。また、営業利益は 234 億円増の 341 億円となりました。

### (その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 46 億円増の 321 億円、売上高全体に占める割合は 2%となりました。また、営業利益は 16 億円増の 13 億円となりました。

## (2)財政状態(連結)の変動状況

当四半期末の**総資産**は、総資産圧縮の継続的取組みを実施しましたが、売上高増加に伴う売掛金の増加、原燃料価格高騰に伴う棚卸資産の増加、三井化学ポリウレタン株式会社を完全子会社化する目的で実施した武田薬品工業株式会社からの株式取得などにより、前期末に比べ 1,190 億円増の 1 兆 4,479 億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ 1,005 億円増の 8,903 億円となり、そのうち、**有利子負債**は 688 億円増の 4,927 億円となりました。この結果、有利子負債比率は前期末に比べ 2.1 ポイント増の 34.0%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ 185 億円増の 5,576 億円(前期末の少数株主持分及び資本の部合計 5,391 億円と比較)となり、**自己資本比率**は前期末に比べ 0.9 ポイント減の 34.0%となりました。なお、平成 18 年 12 月に、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とすることを目的として自己株式を取得しており、取得価額の総額は 168 億円であります。

以上により、当四半期末の**有利子負債/自己資本比率(D/E レシオ)**は、前期末に比べ 0.09 ポイント増の 1.00 となりました。

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ 96 億円増加し、当四半期期末には 408 億円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ 324 億円増の 609 億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、売掛金や棚卸資産の増加により運転資金が増加したものの、税金等調整前四半期純利益が増加したこと及び法人税等の支払額が減少したことなどによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ 430 億円増の 898 億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、三井化学ポリウレタン株式会社の株式取得などにより支出が増加したことなどによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって調達された資金は、前年同四半期に比べ 108 億円増の 377 億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、主として前年同四半期を上回る資金調達を行ったことなどによるものです。

#### (4)連結業績の見通し

通期については、厳しい事業環境が続くと見込まれる中、引続き営業活動に全力を傾注するとともに、徹底したコストダウンに努め、業績の向上を図ってまいります。

これらに加えて最近の業績の動向を踏まえた通期の連結業績の見通しは以下のとおりであり、これは平成 18 年 11 月 10 日に公表した通期の業績見通しを上方修正するものであります。詳細につきましては、平成 19 年 2 月 7 日に公表している「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 3 月期	17,000	850	900	520
平成 18 年 3 月期	14,724	587	620	441
増減額	2,276	263	280	79
増減率	15.5%	44.8%	45.2%	17.9%

上記の前提として、為替レートは通期 117 円 / \$ (平成 19 年 1 月～3 月 120 円 / \$)、国産ナフサ価格は通期 50,250 円 / kl (平成 19 年 1 月～3 月 50,000 円 / kl)としております。

なお、当期末の配当につきましては、従来予想に比べ 1 円増の 1 株当たり 5 円の配当を実施する予定であります。すでに、平成 18 年 12 月 5 日に 1 株当たり 4 円の間配当を実施しておりますので、当期の配当金は、1 株当たり 9 円を予定しております。

また、通期の主なセグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高						合 計
	機能化学品	機能樹脂	基礎化学品	石油化学	その他	消去・全社	
平成 19 年 3 月期	2,200	3,200	5,500	5,700	400	-	17,000
平成 18 年 3 月期	1,927	2,817	4,743	4,870	367	-	14,724
増減額	273	383	757	830	33	-	2,276
増減率	14.2%	13.6%	16.0%	17.0%	9.0%	-	15.5%

(単位：億円)

	営 業 利 益						合 計
	機能化学品	機能樹脂	基礎化学品	石油化学	その他	消去・全社	
平成 19 年 3 月期	120	240	80	410	-	-	850
平成 18 年 3 月期	108	101	218	159	6	5	587
増減額	12	139	138	251	6	5	263
増減率	11.1%	137.6%	63.3%	157.9%	100.0%	-	44.8%

## 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 平成18年12月31日 現 在	前 期 平成18年 3月31日 現 在	増 減 ( )
<b>(資産の部)</b>	1,447,853	1,328,890	118,963
<b>流動資産</b>	694,302	608,995	85,307
現金及び預金	33,391	31,354	2,037
受取手形及び売掛金	324,655	290,914	33,741
棚卸資産	251,088	219,705	31,383
その他流動資産	85,168	67,022	18,146
<b>固定資産</b>	753,551	719,895	33,656
有形固定資産	533,716	532,324	1,392
無形固定資産	29,552	23,319	6,233
投資その他の資産	190,283	164,252	26,031
合 計	1,447,853	1,328,890	118,963
<b>(負債の部)</b>	890,306	789,766	100,540
<b>流動負債</b>	577,506	475,074	102,432
支払手形及び買掛金	238,402	213,182	25,220
短期借入金	140,761	125,817	14,944
1年以内返済長期借入金	22,871	24,334	1,463
コマーシャルペーパー	58,000	1,200	56,800
1年以内償還予定社債	20,111	20,122	11
その他	97,361	90,419	6,942
<b>固定負債</b>	312,800	314,692	1,892
社債	133,077	142,077	9,000
長期借入金	117,900	110,388	7,512
退職給付引当金	47,424	47,230	194
その他	14,399	14,997	598
<b>(純資産の部)</b>	557,547	-	557,547
<b>株主資本</b>	459,544	-	459,544
資本金	103,226	-	103,226
資本剰余金	69,257	-	69,257
利益剰余金	304,891	-	304,891
自己株	17,830	-	17,830
<b>評価・換算差額等</b>	32,117	-	32,117
<b>少数株主持分</b>	65,886	-	65,886
<b>(少数株主持分)</b>	-	75,103	75,103
<b>(資本の部)</b>	-	464,021	464,021
資本金	-	103,226	103,226
資本剰余金	-	66,945	66,945
利益剰余金	-	269,191	269,191
その他	-	24,659	24,659
合 計	1,447,853	1,328,890	118,963

(参考) 有利子負債残高 合計

492,720

423,938

68,782



# 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減 ( )	前 期
	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日
<b>売 上 高</b>	1,255,432	1,072,742	182,690	1,472,435
<b>売 上 原 価</b>	1,044,365	886,506	157,859	1,217,564
<b>売 上 総 利 益</b>	211,067	186,236	24,831	254,871
販売費及び一般管理費	143,449	146,057	2,608	196,166
<b>営 業 利 益</b>	67,618	40,179	27,439	58,705
<b>営 業 外 収 益</b>	16,145	13,572	2,573	18,413
持分法による投資利益	5,649	6,215	566	8,101
その他	10,496	7,357	3,139	10,312
<b>営 業 外 費 用</b>	10,569	10,116	453	15,129
<b>経 常 利 益</b>	73,194	43,635	29,559	61,989
<b>特 別 利 益</b>	3,840	10,873	7,033	22,302
貸倒引当金戻入益	-	1,125	1,125	1,255
持分変動利益	3,102	9,116	6,014	9,366
退職給付信託設定益	-	-	-	10,280
その他	738	632	106	1,401
<b>特 別 損 失</b>	8,262	5,656	2,606	11,366
固定資産整理損・売却損	2,644	4,352	1,708	7,851
減損損失	35	542	507	1,519
関連事業損失	2,076	-	2,076	597
投資有価証券売却損	1,293	289	1,004	904
その他	2,214	473	1,741	495
<b>税金等調整前四半期(当期)純利益</b>	68,772	48,852	19,920	72,925
<b>法 人 税 等</b>	17,762	20,422	2,660	27,681
<b>少 数 株 主 利 益 ( 損 失 )</b>	5,373	4	5,377	1,119
<b>四半期(当期)純利益</b>	45,637	28,434	17,203	44,125

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期	前年同四半期	前 期
	自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	68,772	48,852	72,925
減 価 償 却 費	48,973	51,471	70,099
の れ ん 償 却 額	3,217	-	-
売上債権の増減額（増加：）	32,270	55,506	44,459
棚卸資産の増減額（増加：）	26,614	17,213	14,934
仕入債務の増減額（減少：）	21,905	60,653	45,039
そ の 他	23,088	59,736	48,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,895	28,521	79,709
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形無形固定資産の取得による支出	48,144	47,541	63,829
有形無形固定資産の売却による収入	392	1,367	6,232
投資有価証券の取得による支出	10,274	1,467	1,068
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,932	444	1,492
少数株主持分の取得による支出	27,309	-	-
そ の 他	6,391	414	1,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,794	46,783	58,247
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー	37,723	26,907	19,590
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額	277	820	1,253
・ 現金及び現金同等物の増減額	9,101	9,465	3,125
・ 現金及び現金同等物の期首残高	31,221	28,068	28,068
・ 連結範囲の変更等に伴う現金及び現金同等物の調整額	516	1	28
・ 現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	40,838	37,532	31,221

# セグメント情報

## 事業の種類別セグメント情報

### 外部顧客に対する売上高

(単位：百万円)

	当四半期	前年同四半期	増 減 ( )	前 期
	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日
機能化学品	157,315	140,837	16,478	192,690
機能樹脂	235,233	206,043	29,190	281,738
基礎化学品	409,182	348,157	61,025	474,310
石油化学	421,576	350,212	71,364	487,039
そ の 他	32,126	27,493	4,633	36,658
計	1,255,432	1,072,742	182,690	1,472,435

### 営業利益

(単位：百万円)

	当四半期	前年同四半期	増 減 ( )	前 期
	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日
機能化学品	9,062	6,991	2,071	10,799
機能樹脂	15,058	5,423	9,635	10,066
基礎化学品	9,630	17,459	7,829	21,862
石油化学	34,091	10,691	23,400	15,867
そ の 他	1,339	245	1,584	586
計	69,180	40,319	28,861	59,180
消去又は全社	1,562	140	1,422	475
連 結	67,618	40,179	27,439	58,705

### (注) 各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
機能化学品	機能加工品、電子材料、情報材料、農業化学品、精密化学品
機能樹脂	エラストマー、機能性ポリマー、工業樹脂、ウレタン樹脂原料
基礎化学品	合繊原料、ペット樹脂、フェノール、工業薬品
石油化学	石化原料、ポリエチレン、ポリプロピレン
そ の 他	プラントの建設及びメンテナンス、倉庫運送業等